



第25回 やくも ゆめ議会



3月2日(木)、「第25回やくもゆめ議会」が、八雲町議会議場で開催されました。今回は、小学生8人(うち1人が議長)が、日頃感じているまちづくりに対する提案や意見を発言しました(ページの都合上、要約し掲載しています)。



こうべ とわ
神戸 翔羽 議長(八雲小学校6年)

ゆめ議会議長として

開会にあたり

ゆめ議会は僕たちの住む八雲町がより良い町になるように自分たちの考えを伝えることのできる機会だと思います。このような貴重な機会を作っていただきありがとうございます。スムーズな進行ができるように頑張ります。

閉会にあたり

皆様のご協力により「やくもゆめ議会」の議長を、無事、務めることができました。岩村町長、土井教育長をはじめ、皆さん、ありがとうございました。議長席に座り会議を進めることや、議員の席に座り、議場で質問をすることは、私たちにとって、初めての経験であり、緊張とともに、非常にうれしく思いました。この体験は、私たちにとって一生忘れられない思い出になると思います。



あぶらや とくま
油谷 徳真 議員(熊石小学校6年)

熊石地域に観光スポットを建設してほしい

熊石地域は、若者が集まらず少子高齢化が深刻となっているという大きな課題があるため、熊石の良さが伝わり、若者や子どもたちを集められるような観光スポットを作ることができたら、解決につながるのではないかと考え、観光施設を建設し、熊石の動物や特産物を使ったコーナーや、海のゴミ拾いやゴミアートなどのイベントを提案します。

答弁)町長

「住み続けられるまちづくり」といった課題には、魅力ある観光スポットの創出やアイデアをこらしたイベントを開催し、人を呼び込み、若い人たちにも地域の良さをどんどんアピールすることは、課題解決に向け大変有効な手段であると思います。

熊石地域には、キャンプ場をはじめ、「ちゃぷちゃぷ公園」や「わんぱくの森」など、自然を満喫できる施設が整備されておりますが、ご提案の熊石動物コーナーやあわび・ウニなど熊石をテーマにした子ども向け遊具の整備などは、地域の魅力を発信するとてもユニークな発想だと思いますし、ゴミアートのアイデアについても、最近ではアートの世界にもSDGsの考え方が浸透しつつあり、作品を楽しみながら環境問題に関心を向けさせる良い機会になるものと思います。熊石地域には、都会にはない田舎ならではの魅力が沢山眠っているものと思います。

議員が提案してくれたことを参考に、熊石が住みよい地域となるように、観光施設の整備やイベントの充実のほか、産業の振興や福祉・医療の充実、また、皆さんとふるさと熊石について学び地域を考える機会をつくるなど、地域の課題解決に向けた取り組みを進めて参ります。